

報道関係者 各位

令和5年8月3日

 協会けんぽ  
データで  
多角的に分析

## 健康経営に対する経営者層の関わり・支援の有無が 退職者の割合に影響 ～3倍もの開きが！～ ～ その3：健康経営の取組みの効果について～

健康経営の取組課題としてのメンタルヘルス対策に関する事業所実態調査

※「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

- 協会けんぽ広島支部では、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、健康の保持・増進につながる取組みを戦略的に実践する「**健康経営**」を推進しています。
- 健康経営の取組課題として、心の健康を崩すことが原因で長期欠勤や労働生産性の低下を招くことも多く、「**メンタルヘルス対策**」は企業にとって重要課題になっています。
- 今回、メンタルヘルスの状況について、広島支部加入者の健診データ・レセプトデータ・傷病手当金受給データ及び事業所アンケートを活用し、多角的に分析しました。その得られた内容について、複数回に分けて、情報提供をします。

### 《事業所実態調査の結果概要》

●事業主・経営者層が健康経営に「積極的に関与している」と回答した事業所と比較して、「ある程度は関与している」「あまり関与していない」と回答した事業所では、**退職リスクが約2倍**。

さらに「健康経営に取り組んでいない」と回答した事業所では、**退職リスクが約2.8倍となりました**。事業主・経営者層が健康経営に積極的に関与することにより、退職リスクを大きく低下させられる可能性があることが示唆されます。

●「健康経営」に積極的に取り組む事業所において、以下の項目において差がありました（令和3年度データ）。

- ・被保険者一人あたり年間医療費が約2万円低い。
- ・資格喪失者（退職者等）の割合が約3.5%低い（特に10代・20代で差が顕著）。
- ・被保険者のメンタル系疾患による医療機関受診者の割合が約1%少ない。

- 本業務はニッセイ情報テクノロジー株式会社、株式会社こどもみらい・東京医科大学精神 医学分野 睡眠健康研究ユニット・産業精神医学支援プロジェクト 志村 哲祥 兼任准教授と協働実施しました。



今回の分析の詳細については、**広島支部ホームページ**に掲載しています

#### 【協会けんぽについて】

中小企業等（約256万社）で働く従業員やそのご家族（約3,944万人）が加入している日本最大の医療保険を運営する公法人です。

- ・加入事業所数（広島支部）： 58,546事業所（令和5年3月時点）
- ・加入者数（同上）： 1,044,575人（令和5年3月時点）

#### <本件に関するお問い合わせ>

全国健康保険協会広島支部  
企画総務グループ  
担当：尾田・柏矢  
Tel.082-568-1014

 協会けんぽ 広島支部  
マスコットキャラクター  
健康 いろは

 協会けんぽ 広島支部  
マスコットキャラクター  
健康 かえで


退職リスクに  
約3倍の開きが！

# 健康経営に対する「経営者層の関わり・支援の有無」が退職者の割合に影響

アンケートの結果	考察
<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業主・経営者層が健康経営に「積極的に関与している」と回答した事業所と比較して、「ある程度は関与している」「あまり関与していない」と回答した事業所では、<b>退職リスクが約2倍</b>。</li> <li>●さらに「健康経営に取り組んでいない」と回答した事業所では、<b>退職リスクが約2.8倍</b>となりました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●この結果から、事業主・経営者層が健康経営に積極的に関与することにより、退職リスクを大きく低下させられる可能性があることが示唆されます。</li> </ul>

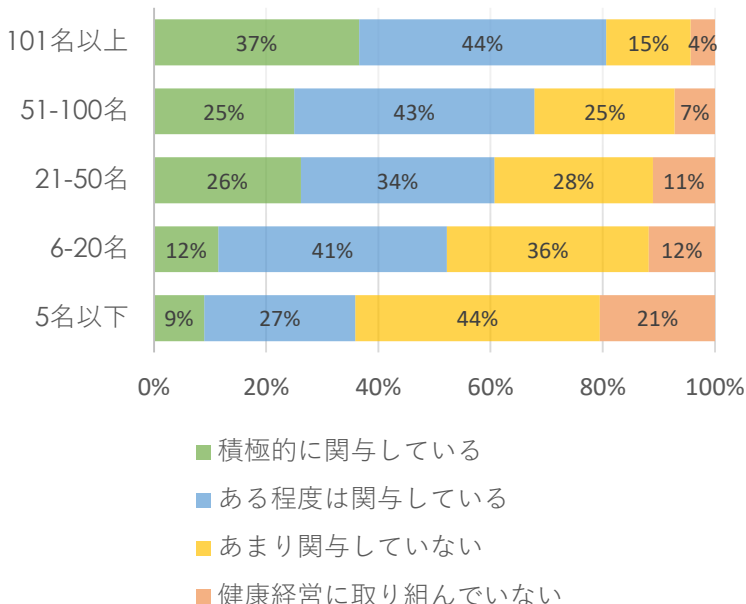
## 健康経営に対する経営者層の関与と退職リスク

経営者層の関わり・支援の有無の回答結果	退職リスクのオッズ比 (倍)
積極的に関与している	1.0
ある程度は関与している	1.9
あまり関与していない	2.0
健康経営に取り組んでいない	2.8

退職リスクが  
約3倍！

※「退職者の割合」の分布から、退職者の割合が20%以上の事業所は割合が相対的に高いとみなし、これを指標として設定した。「退職者の割合が20%以上かどうか」を目的変数、アンケートの各設問項目を説明変数として多変量のロジスティック回帰分析を行い、リスク要因を分析した。  
 ※「積極的に関与している」と回答した事業所群における「退職率が20%以上となるリスク」を1.0とした場合に、それ以外の回答をした事業所群の相対的なリスクを表したものの。

### 健康経営に対する経営者層の関わり・支援の有無



「健康経営に対する経営者層の関わり・支援の有無」にかかる回答結果の分布は、事業所の人数規模ごとに、図6のようになりました。

「積極的に関与している」と回答した事業所は、101名以上の事業所では37%と比較的高い結果となりましたが、従業員が20名以下の事業所では10%前後と低めでした。

小規模の事業所ほど予算や人員を確保することは難しいと考えられますが、まずは経営者の皆さまが従業員の健康に関心をもち、できることからひとつずつ取り組んでいただくことを推奨しています。

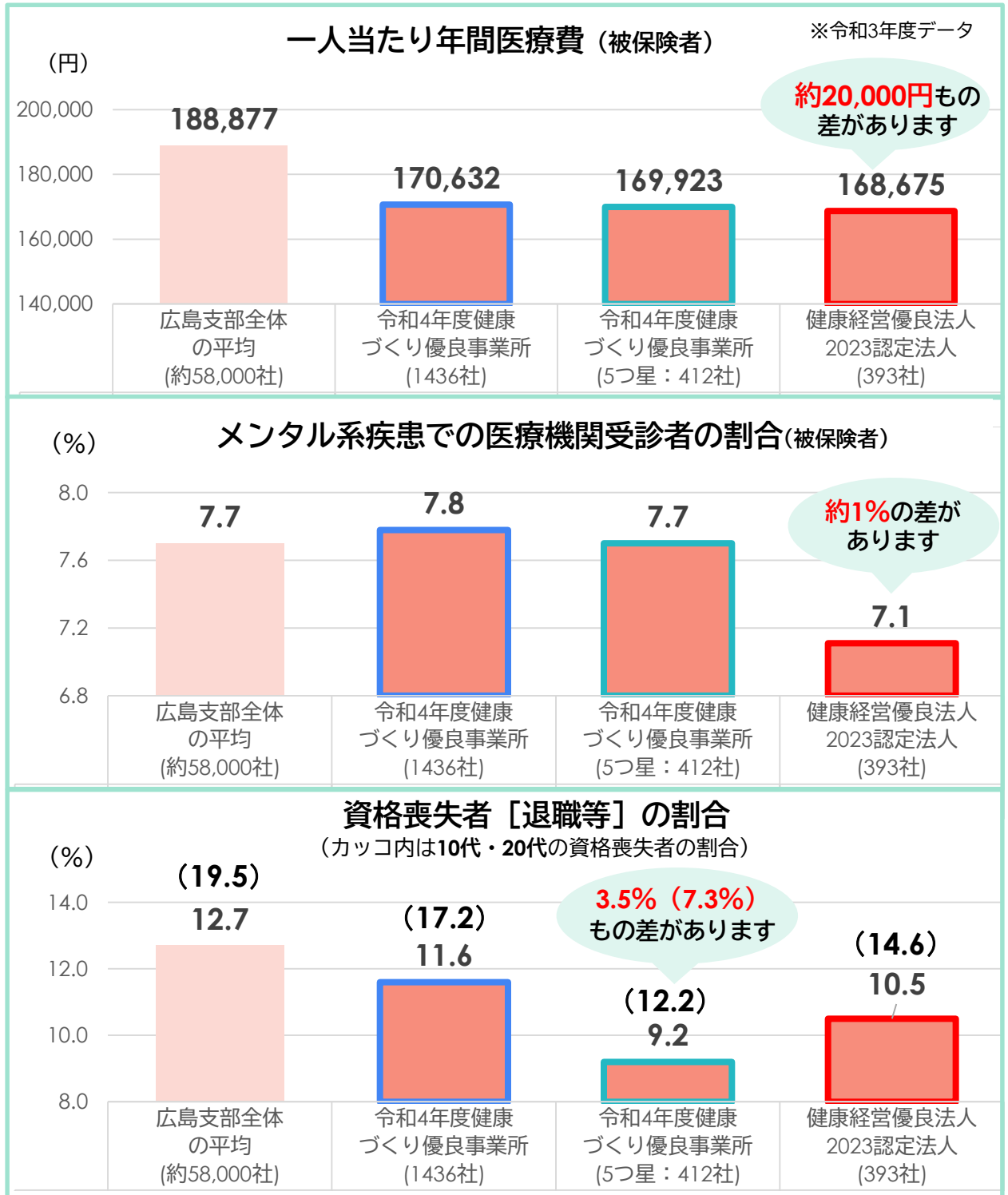
「健康経営」に積極的に取り組む事業所において、令和3年度において、被保険者一人あたり年間医療費、資格喪失者（退職者等）の割合が低く、被保険者のメンタル系疾患による医療機関受診者の割合が少ない状況となっています。

## 【広島支部加入事業所における比較】

- 広島支部全体の平均
- 令和4年度健康づくり優良事業所（1,436社）※1
- 健康経営優良法人2023認定法人（393社）※2

※1：協会けんぽ広島支部で認定

※2：経済産業省、日本健康会議で認定



## ○ 健康づくり優良事業所の認定について

協会けんぽ広島支部では、ひろしま企業健康宣言「**令和4年度 健康づくり優良事業所**」として認定し、認定証の発行及び認定ロゴマークの提供をしています（令和4年度は1,436社を認定）。



ひろしま企業健康宣言  
健康づくり優良事業所  
(ゴールド)



ひろしま企業健康宣言  
健康づくり優良事業所  
(シルバー)



ひろしま企業健康宣言  
健康づくり優良事業所  
(ブロンズ)

### 【認定の対象】

令和4年3月31日時点でのひろしま企業健康宣言にエントリー事業所を対象に、令和3年度（令和3年4月から令和4年3月まで）の取組みを振り返るための「ひろしま企業健康宣言チェックシート」に基づき採点を行い、認定基準を充足された事業所を「健康づくり優良事業所」として認定。

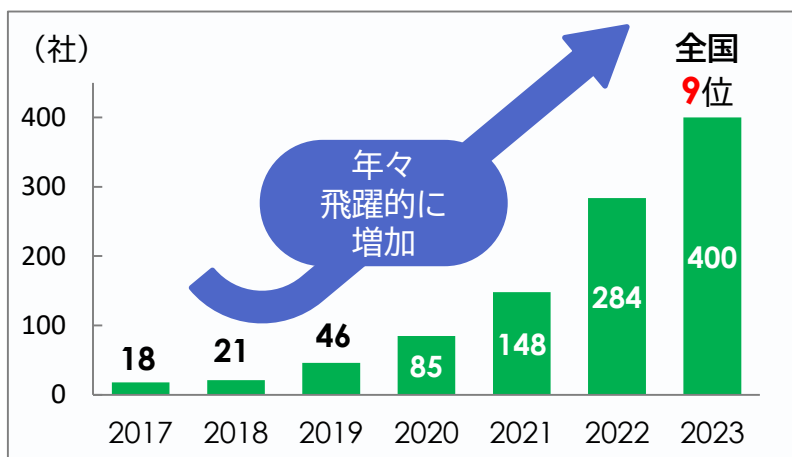
### 【認定事業所数】

認定証の表示	チェックシート点数	認定事業所数
★★★★★ (ゴールド)	90点以上	412社
★★★★ (シルバー)	75点以上90点未満	650社
★★★ (ブロンズ)	60点以上75点未満	374社

## ○ 健康経営優良法人認定法人について

健康経営に取り組む企業等の「見える化」を進めるため、経済産業省と日本健康会議では、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度「**健康経営優良法人認定制度**」を実施しています。

### ● 広島県の中小規模法人部門の認定状況（令和5年3月8日現在）



### ● 認定ロゴマーク



### ● 協会けんぽ広島支部における申請サポート

協会けんぽ広島支部では、オリジナルで作成した「**健康経営優良法人サポートブック2023**」（広島支部ホームページ掲載あり）を活用し、申請のサポートをしております。

**健康経営優良法人認定事務局（日本経済新聞社）のホームページ「Action! 健康経営」**に好事例として取り上げられています。

